

グローバルフェスタ(GF)JAPAN2015 お台場にて開催

10 月 3 日、4 日の秋晴れの中、GF お台場にて開催された。10 月 6 日の「国際協力」の日に合わせ毎年 10 月に行われているもので国際協力活動を行う政府機関や NGO、企業等が一堂に会する日本最大級の国際協力イベント。国際協力をより身近に感じてもらうと共に、国際協力の現状、必要性などについて理解と認識を深め、さらに国際協力への参加を促すことを目的としている。今年の入場者数は 101,300 人、出展者数は 274 団体でした。皇居周回コースを利用したチャリティーランは開催場所が日比谷公園からお台場に移ったことから、一旦完了することになりました。今年は「ありがとうチャリティーラン&2014 年支援先報告」と題し、これまでのチャリティーランの振り返り、また昨年の支援先である「(特活)パレスチナ子どものキャンペーン様」からチャリティーの使用用途、成果を報告頂きました。WRJ 展示ブースにおいては恒例となりつつあるランニングマシンを用いた「タスキでつなぐチャリティーリレー」を開催、活動報告コーナーでは、日本で行っている活動と、今年 7 月に視察してきたアフリカプロジェクトの報告を行いました。WRJ はビジョンの一つである「走ることを通して貢献する」に基づくチャリティーランのような新しい企画を皆様に提供できるよう取り組みます。



歌手 Sunny さんを中心に
'12 年'13 年'14 年コアボランティアの皆さん

今後とも宜しくお願い申し上げます。

(WRJ 理事・運営委員 久保 正義)

ありがとうチャリティーラン&2014 年支援先報告 **(特活)パレスチナ子どものキャンペーン(CCP)様**

「パレスチナ・ガザ 聴覚障がいの子どもたちへの給食支援」

昨年 7~8 月のイスラエル軍による軍事侵攻直後の、食糧など生命維持のための物資支援が喫緊の課題であった中で、とりわけ弱い立場にある障がいを持った子どもを対象に給食を提供。子供たちへ生きるエネルギーを与えた。

【支援金】 1,047,000 円

【活動期間】 2014 年 10 月 5 日~2015 年 1 月 31 日



笑顔の「アトファルナろう学校」の生徒

「アトファルナろう学校」の生徒 350 人(3~15 歳)に、約 9,000 食の「温かい」食事（炊き込みごはん、チキンスープなど）を提供し、次のような成果があった。一つ目は、食卓を囲む温かさを通して安心を与えることで、子供たちの健康維持、成長と共に、勉学促進と学力向上につなげた。二つ目は、地元の食品を給食に活用することで経済活性化に貢献したことである。

(WRJ 運営委員 杉浦 正宣)

WRJ 展示ブース

(WRJ 運営委員 大淵 秀仁)

走って貢献をするというとてもシンプルな自己表現を、より気軽に体験していただくため、100 円でランニングマシンを 1 分間走ることがチャリティーに繋がる「タスキでつなぐチャリティーリレー」を今年も行いました。国際協力に関わる人、或いは興味関心を持つ人が集まるグローバルフェスタであるからこそ、チャリティーに対して感度の高い方々に参加して頂くことが出来ました。結果として約 150 人分ものタスキが繋がれ、多くの笑顔がうまれました。また今回、いつもは大会運営に携わるスタッフと共にブース運営をおこない、新鮮ながらもスタッフの熱い気持ちがランニングマシンを走るランナーへの声援に現れ、例年以上に盛り上がりました。本当に多くの人に支えられた 2 日間でした。有難うございました。

下記の写真は、タスキでつなぐチャリティーリレーの様子です。



活動報告コーナー

(WRJ 副代表理事・運営委員 金子 良太)

今年のグローバルフェスタで、WRJ の活動について報告する機会がありました。報告の前半部分では、WRJ のビジョンの一つである「走ることを通して貢献する」を実現するために日本で行っている活動、具体的には新春ランニング感謝祭やチャリティーリレーfor アフリカ等、WRJ が開催しているランニング大会を中心に説明しました。後半では、WRJ のもう一つのビジョンである「地球上から慢性的飢餓を終わらせる」ことを目的に、タンザニアとケニアで行っている支援プロジェクトについて動画を使い報告しました。動画は、主に 7 月の WRJ アフリカツアーで撮ったものを編集し、今年 奨学金を受けた 2 名の女子中学生、中学校建設プロジェクトにより完成した教室、ナイロビのスラムで給食を受けている子供達の様子、また現地の人達との交流の場面を映しています。1 時間程度の報告会でしたが、参加者からは「WRJ のアフリカでの活動を知ることができた」「私達が行っている支援やボランティア活動がどのように現地の人達の支援に繋がっているかが分った」という声が聞かれました。今後もこのような報告会や広報活動を通じ、WRJ の活動を多くの方々に知っていただきたいと思います。



WRJ 活動報告中の
金子副代表理事。
マサイにプレゼント
された布がよく似合
っている！！

お台場を走ってみました・・・。

(WRJ 副代表理事・運営委員 佐藤 高志)



台場公園からは、フジテレビをはじめお台場のビルが海の向こうに見ることができました。レインボーブリッジからは、隅田川の河口付近や、スカイツリー・東京タワーなど一望に。

グローバルフェスタ当日にチャリティーランの代わりにお台場を走りました。土曜日は、潮の香り感じつつ、海水浴場のお台場海浜公園や江戸湾警備の砲台跡の台場公園を巡りバーベキューもできる潮風公園へと海岸沿いを走り、日曜日はユリカモメと一緒にレインボーブリッジの高い位置から江戸の下町を眺めながらのゆっくりランで、皇居とは一味違った景色を楽しみました。

今後もグローバルフェスタがお台場で開催されるか未定ではありますが、チャリティーランもお台場に移しての開催を検討していきます。

チャリティーラン21年間の思い

(WRJ 理事・運営委員 柏 正俊)

昨年 21 回の開催をもってチャリティーランが完了しました。21 年間継続できたことを関係者の皆様に感謝し、21 回すべてに関われたことを誇りに思います。

すべてを語ることは難しいですが「印象に残っている大会は」と尋ねられれば迷わず 2009 年と答えております。チャリラン史上初めて締切日より 10 日ほど早く 1362 名でクローズの手配をとりました。それは参加者集めに苦労をしてきた WRJ の長年の夢が叶った瞬間でもありました。参加者が 1000 名を超えたのはこの時を含めて 4 回しかなく、しかも 4 年連続の快挙となりました。チャリティー額もこの 4 年間で 520 万円に達しておりました。21 年間の貢献先はタンザニア・ウガンダ共和国・ブルキナファソ・アフガニスタン・フィリピン・バングラデシュ・タイなどで力強くサポートをしてまいりました。

チャリティーランが開催されて 10 年後にピンチが訪れました。2003 年 203 名、2004 年 163 名と不振が続きチャリランが継続できるかまさに正念場をむかえておりました。この難局を乗り切るために広報の強化などアイデアを出して奮闘し、翌年は 3 倍近い 426 名を集めることができました。2014 年は台風の影響でグローバルフェスタ史上初めて午前中での終了となりました。実は 2004 年の大会も 1 日中激しい雨の中での開催となり、この時は続行されました。ほとんどのスタッフ・ボランティアの方は膝上まで雨でぬれてしまい打ち上げは 40 名から 20 名に激減しておりました。過酷な条件の中、最後まで立場を執り続けたスタッフ・ボランティアの人達には後日、参加者から感謝のメールが届いておりました。

地球上から飢餓をなくすというビジョンをかかげ 21 年間、雨の日も風の日もこのイベントに関わっていただいたすべての皆様に心から感謝を申し上げます。そして多くのドラマと感動をありがとうございました。未来を創作し新しいチャリランが誕生するよう、そして多くの人達に夢と希望を提供できるよう祈願しております。

小坂 雪雄 WRJ 理事の紹介

(WRJ 代表理事・運営委員 加藤 典字暉)



後列白帽
ランシャ
ツが小坂
さん'93AF
チーム



WRJ ワーク
スペースにて
小坂さん
2015年10月
19日撮影

千葉県在住、'59年、昭和34年12月岩手県生まれ、55歳、本人の言によれば「岩手と言っても奥まったところで、十和田湖の南、秋田、青森、岩手3県の県境近く奥羽山脈の斜面になります。」とのこと。小坂さんの粘り強い仕事振りはこの頃培われたものではないかと膝を叩く人も多いのではないのでしょうか。高校卒業後大学進学のため上京「地理学」を専攻、卒業後はSEとして経験を積み現在は後進の育成指導に当たって居られます。

WRJとの出会いは、'92年11月友人に誘われ皇居でのWRJの記録会に行ったのが最初だといいます。当時日本のマラソン界は瀬古、宗兄弟といったランナーがいて自分は走っていなかったが「走りたい!」と思っていた処への誘いでした。そしてその場で「アフリカで一緒に走らないか」と誘われWRJのアフリカプロジェクトへの参加を決めたという。アフリカについては妹さんが協力隊員としてマラウイに駐在していた事もあり関心があった事も参加を後押しした要因でした。

当時は振り返って小坂さんは、アフリカに行く決めて、'93年実際にケニアとタンザニアに行き日本に戻って「何だかわからないが一步を踏み出した自分という体験が大きかった」「船に乗れば船の着く所に着くという達成が手に入るという感覚が嬉しかった」という。帰国後報告書の中で「走るのがきっかけでボランティア活動を始めました。アフリカの人と共に未来を創ろうとするこの活動に自分を動かしてくれたランニングに感謝しています。」と述べています。因みに小坂さんの初マラソンはこの時のタンザニア、アルーシャで走った「マウントメル―国際マラソン」記録は4時間45分26秒でした。

帰国後WRJの活動に積極的に関わり始めて翌年'94年6月から今も続くWRJ定期ランを始めたのが小坂さんです。足掛け17年200回を持って次にバトンタッチして下さいました。「応援してくれる人が多かった事と、定期ランに行けば得られるものがあるという処から多くの人が参加してくれたと思います。柏コーチに大いに助けられました。」とのこと。WRJの走るという分野を支え続けて下さったお二人に感謝です。

チャリランの完了については、「やはり少し寂しいですね。何かをやりたい人が集まる場所だったので、」そうした意味では、「ランニング感謝祭やチャリティーリレー for AFRICAに関わってくれる人達をコアのメンバーへ招待して行くというのはどうでしょうか」とのこと。

WRJの活動に関わり始めたころの思いに立ち返ると「世界に違いを創る事を通して自分に違いを創る」「自分が動き出すと自分も周りも動いてゆく実感」「マラソンと同じように途中はいろんな事があるがゴールは一つ、そういったWRJの活動はいいな」と言うのがありましたという。

この活動に関わって24年、自分の人生への一番のインパクトは、定期ランで出会った恵子さんと結婚し二人のお子さんにも恵まれ家族を持った事ですという。「定期ランが無ければ恵子さんとは出会っていなかった」という。まず自分が一步踏み出し定期ランを創ったそのスペースにパートナーが現れたというのは自分で創った素晴らしい結果ですね。「今も年1回くらいはレースに出ています。」「ぜひもう一度アフリカに行きたいですね。」「運営委員会もオブザーバーという形で出れる時に、」と仕事帰りに稲田堤まで足を伸ばして下さい上、忘年会への参加を約束して爽やかにご家族の許にお帰りになった小坂さんでした。

2014 年度(特活)WRJ 通常総会&アフリカ報告会&懇親会

(WRJ 理事・運営委員 細貝 博)

2015 年 8 月 29 日(土)当法人ワークスペースにて、20 名の出席で総会が開催された。開会宣言・代表挨拶からスタートし、議長選出・書記並びに議事録署名人 2 名の選任が行われた。

まず役員の紹介が行われた。続いて 2014 年度事業報告・2014 年度決算報告・2014 年度監査報告等の審議が行われ、活発な質疑応答の結果満場一致をもって異議なく可決決定した。次に、2015 年度事業計画・2015 年度予算等の審議が行われ、活発な質疑応答の結果、満場一致をもって異議なく可決決定した。

総会の後、本年度アフリカプロジェクト視察ツアーの報告会が開催された。現地での活動内容やプロジェクト(学校校舎の建設・奨学金プロジェクト基金の奨学生の選出)の進捗状況が、スライド・動画で紹介された。現地の状況が手に取るように伝わり特に、WRJ メンバーと子供たちの笑顔での触れ合いが印象的であった。

総会終了後、アフリカプロジェクト視察ツアーの慰労と今後の WRJ 活動の決起を兼ねて、懇親会が開催された。アフリカツアーの裏話や普段聞けないメンバーの話等で大いに盛り上がった。また、美味しい沖縄料理や沖縄ビール・泡盛・焼酎などなど、お腹も心も満たされ楽しい時間を過ごしました。

2014 年度 WRJ 会員とサポーターの皆様、寄付して頂いた皆様

矢代 彌一, 加藤 典宇暉, 三科 美由紀, 大淵 秀仁, 深水 勝, 高瀬 博康, 小野 裕, 渡辺 隆司, 小坂 雪雄, 豊田 佳美, 細田 晶子, 佐藤 潔, 森 健二, 長谷川 雅義, 藤島 政彦, 久保 正義, 住吉 健, 田中 克彦, 佐藤 洋太, 篠田 登夢, 鈴木 愛子, 佐々木 清香, 野坂 良勝, 湯山 花子, 細貝 博, 中井 学, 佐々木 雅浩, 高須 潤, 岡田 修, 本橋 保志, 三田 正二, 金子 良太, 遠藤 雅春, 北村 彰浩, 神崎 直乃, 辻川 葉津樹, 富田 祐巳子, 三田 裕の, 鈴木 香子, 森部 和彦, 宮下 智美, 高橋 潤, 萩原 卓郎, 山田 努, 松井 清美, 杉浦 正宣, 寺村 正夫, 伊藤 恵文, 管 和歌子, 松川 文子, 三田 富美子, 佐藤 高志, 福井 仁, 余合 美沙, 陸井 大三, 宇佐美 弘子, 宮崎 洋介, 渡部 敬子, 金田 良和, 嶋本 裕, 谷川 夕紀子, 山田 晃弘, 和田 基靖, 杉野 弘子, 田中 重雄, 佐久間 智子, 多田 育代, 石見 健, 山口 勝之, 川村 純, 松本 健司, 澤井 陽子, 津川 芳己, 牧岡 洋子, 宇賀 直美, アルワ・オスマン, 渡辺 真, 酒井 絵里子, 角田 真樹, 串橋 徳明, 鈴木 佐和子, 佐藤 良子, 鈴木 豊, 大澤 修一, 梅原 実, 柏 正俊, 中田 彰生, 一ノ枝 亮輔, 武谷 淳一, 飯島 希望, 前島 真織, 上川路 正信, 加藤 一枝, 橋本 博幸, 菱田 直樹, 山本 誠, 植草 英一郎, 白井 恵子, 斎藤 健三, 森 直美, 石本 あゆみ, 鈴木 経彦, 徳永 京一, 古谷 雅彦, 内田 浩之, 中村 晴美, 寺村 さち子, 毛利 十紀子, 関 計哉, 萩生田 良志美, 芦名 伸明, 上田 剛, 野呂 次男, 村上 隆一, 佐藤 高正, 日向 洋子, 舩田 栄一, 清水 真由美, 赤石 聡, 山本 昭代, 後藤 勇夫, 飯田 恵理子, 目崎 美代子, 畑岡 純子, 渡辺 彰三

(順不同、敬称略)

新春ランニング感謝祭のご案内

来年 2 月に恒例の「第 17 回新春ランニング感謝祭」を開催します。皆様の参加をお待ちしています。

【日 程】 2016 年 2 月 7 日(日)

【場 所】 川崎多摩川緑地古市場陸上競技場をスタート・ゴールとするハーフマラソンコースの一部を使う往復コース

【種 目】 ハーフ、10km、5km

【スタート時間】 ハーフ(10:30)、10km(10:35)、5km(10:40)

【参加費】 各種目とも 3,000 円、中学生以下 1,500 円

<http://www.wrj.jp/2016kansyasai.html>



昨年のスタート風景(ハーフの部)

ランネット・スポーツエントリーは、1 月 7 日(木)まで受け付けます。事務局でも受け付けています。

不定期ラン（8月福島の会）

恒例の不定期ランを8月に福島市で、副代表理事の佐藤高志さん、運営委員の田口達さん、常連の平田恵子さん、矢部健一さんが関東から、現地赴任中の和田含め5名の参加でした

8月22日夕方に矢部さんの車で4名到着後、蒸し暑い中を福島駅前から信夫山・羽黒神社(標高260m)へ、大わらじを拝む等約7km走りました。懇親会は福島駅近くのやきとり土竜で会津地鶏と地酒を堪能しました。翌日は福島を出発し、浜通りを視察しました。道の駅「川俣」で美味しいと評判の桃を買いつつ、除染が進む飯館を経由して、4月にオープンした南相馬の「セデッテかしま」に寄った後は、津波被災後に相馬駅近くに移転して再開の遊睥で昼食。その後は国道6号で南相馬から原発のある双葉郡を南下していわきへ、南相馬では津波の被害で数万本の松の木の中から一本だけ残った「かしまの一本松」、富岡では震災遺構として保存されている津波被災パトカーと倒壊家屋が多く残る富岡駅周辺、いわきでは浜風商店街(仮設店舗)を経て、復興のシンボルである道の駅「よつくら港」でお土産を購入して帰路につきました。復興道半ばの現地赴任中の身としては今回共有の時間を持てたことは貴重でした。来られなくても買物などを通じて携わっていただけると幸いです。

(和田 WRJ 理事・運営委員)



不定期ラン（since2013）ご案内

恒例のクリスマス不定期ラン、今年も行います。

12月20日(日)の午後。コースは検討中ですが、昨年は大槇橋・山下公園・港の見える丘公園・山手通りの教会エリア・外人墓地・赤レンガ倉庫などを巡って、横浜中華街で食べ放題飲み放題2時間一本勝負でした。写真は昨年の横浜不定期ランです。今年はサンタ度をアップしようと計画しております。参加を希望される方は、下記定期ラン連絡用メールに一報下さい。



定期ラン（since1994）のご案内

WRJ ではランナーの交流の場として毎月第二日曜日に定期ランを開催しています。

通常は皇居周回コース(1周5km)で、竹橋・和気清麻呂銅像前をスタートし、走力に合わせて1~3周を走ります。(年に数回、多摩川や荒川等で開催しています。)

終了後18:00から懇親会を開催しています。

(神田駅周辺「白木屋」など。)

○参加希望・ご質問は、定期ラン連絡用メール
(teiki-run@wrj.jp)へ、

定期ランマネージャー佐藤、和田、鈴木理事に届きます。

※連絡が取れない場合はWRJ事務局まで

(044-949-1068 加藤方)

次回：11月8日(日)(第258回)

次々回：12月13日(日)(第259回)

集合：14時40分 *JR神田駅北口 改札口前

15時30分 *竹橋駅・和気清麻呂銅像前

編集後記

チャリランの完了は、寂しいですね。でも21年間継続してきたことはWRJの力の源泉でした。WRJにたくさんの仲間ができました。そして今までチャリランに参加して頂いた全ての方に感謝いたします。完了することは、新たな創作のスタートです。これからもWRJを宜しくお願いします。(WRJ副代表理事 徳永 京一)